

7.18 人と自然との触れ合い活動の場

7.18.1 調査

(1) 調査方法

1) 調査項目

人と自然との触れ合い活動の場の調査項目を表 7.18.1-1 に示す。

表 7.18.1-1 人と自然との触れ合い活動の場の調査項目

調査項目	文献その他の資料	現地調査
人と自然との触れ合い活動の場の状況	○	○
人と自然との触れ合い活動の場の利用状況、利用形態及び利用環境	—	○
人と自然との触れ合い活動の場のアクセス形態	—	○
利用の観点から見た人と自然との触れ合い活動の場の価値	—	○

2) 調査地域

調査地域は、直接的影響及び間接的影響のおそれのある範囲として、事業実施区域周辺及び資機材の運搬車両、廃棄物運搬車両等の走行ルート沿いとした（図 7.18.1-1）。

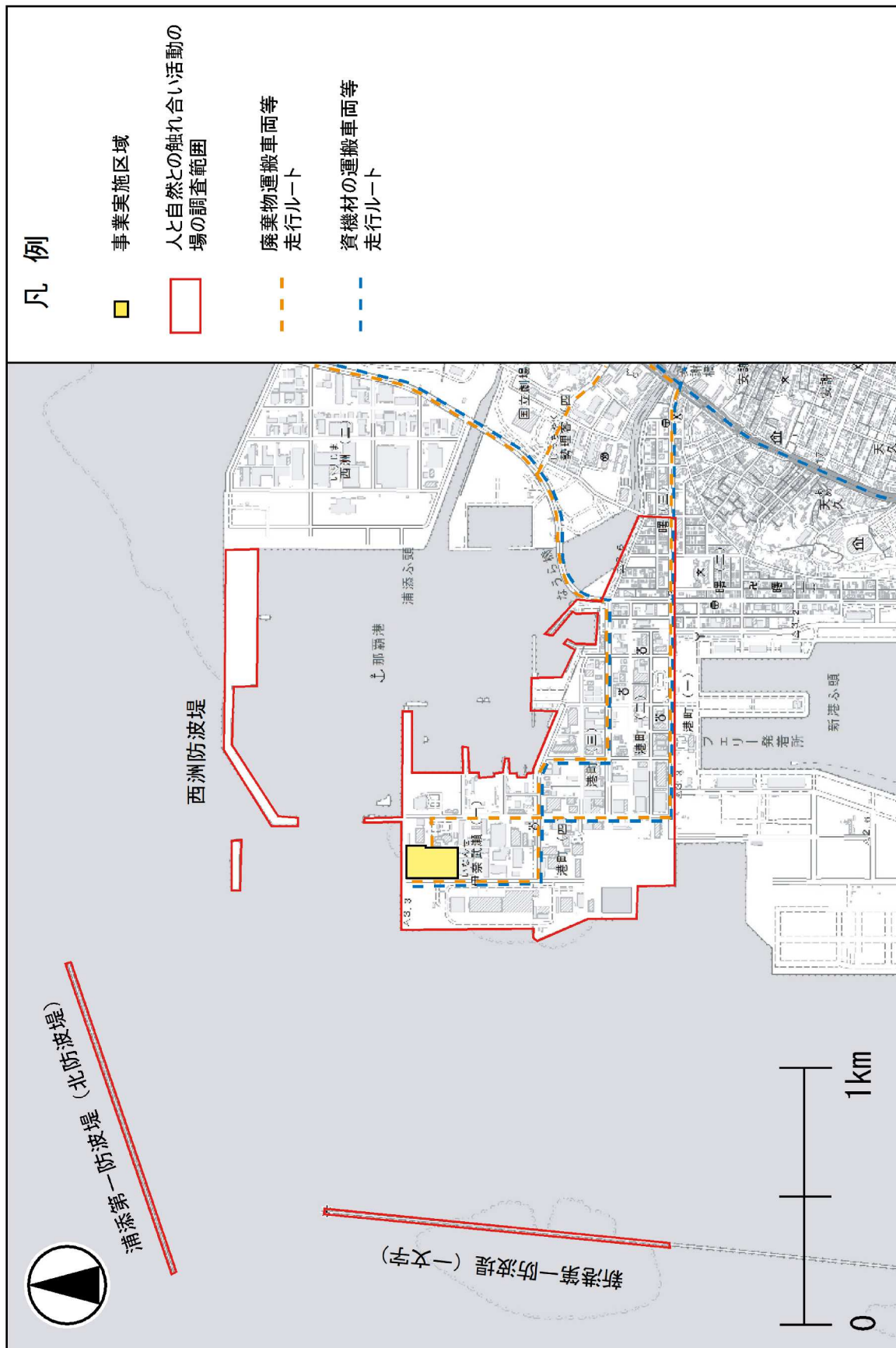


図 7. 18. 1-1 人と自然との触れ合い活動の場の調査範囲

3) 調査方法

① 人と自然との触れ合い活動の場の状況

a. 文献その他の資料調査

既存資料調査により、事業実施区域周辺において人が集まる場所及びイベント等を収集・整理した。

b. 現地調査

人と自然との触れ合い活動の場の現地調査時期については、地域住民等へのヒアリングを行い、地域のイベント等の特性を踏まえた期間とした。

人と自然との触れ合い活動の場の現地調査時期を表 7. 18. 1-2 に示す。

表 7. 18. 1-2 人と自然との触れ合い活動の場の現地調査時期

調査項目	調査時期	
人と自然との触れ合い活動の場の状況	秋季	令和2年10月25日
	冬季	令和3年1月17日

c. 調査方法

現地調査により、事業実施区域周辺における利用者の確認を行った。

② 人と自然との触れ合い活動の場の利用状況、利用形態及び利用環境

a. 現地調査

人と自然との触れ合い活動の場の利用状況、利用形態及び利用環境の調査時期については、「① 人と自然との触れ合い活動の場の状況」と同じ時期とした。

b. 調査方法

現地調査により、利用者カウント調査とアンケート調査を実施した。

利用者カウント調査の調査時間は、日の出から日没までの間で2時間毎に利用者数の観測・計測を行った。

利用者数のカウントは、利用場所毎、利用形態（海水浴、釣り、マリンスポーツ、休憩・散歩、観光、その他等）毎に行った。

年齢層は、年代毎に行った。

なお、利用場所毎については、造成地、緑地、海岸、那覇市沿岸漁港、防波堤、野球場(伊奈武瀬球場)の6区分とした(図 7. 18. 1-2 参照)。調査位置の状況を表 7. 18. 1-3 に示す。

アンケート調査は、事業実施区域及びその周辺で、利用目的、訪問回数等を利用者へ直接ヒアリングを行った。

表 7.18.1-3 調査位置の状況

調査位置	調査位置の状況
造成地 ※調査範囲全域に含まれる。	事業実施区域とその周辺は埋立地となっており、土地利用現況図によると、運輸流通施設となっている。
緑地	地域の人々が休憩や散歩として訪れるなど、憩いの場所として利用されている。
海岸	休憩や散歩以外に釣りやマリンスポーツとして利用するなど、憩いの場所として利用されている。
那覇市沿岸漁港	漁港内には、新港第一防波堤（一文字）などへ釣りを目的とする釣り船が出向している。
防波堤	新港第一防波堤（一文字）などでは、多くの釣り人が利用している。
野球場（伊奈武瀬球場） ※事業実施区域に含まれる	市民が休日には野球を楽しむ場となっている。

③ 人と自然との触れ合い活動の場のアクセス形態

a. 現地調査

人と自然との触れ合い活動の場のアクセス形態の調査時期については、「① 人と自然との触れ合い活動の場の状況」と同じ時期とした。

b. 調査方法

「② 人と自然との触れ合い活動の場の利用状況、利用形態及び利用環境」のアンケート調査の際に、交通手段を利用者へヒアリングを行った。

④ 利用の観点から見た人と自然との触れ合い活動の場の価値

a. 調査方法

上記の調査結果から、人と自然との触れ合い活動の場の価値の把握を行った。

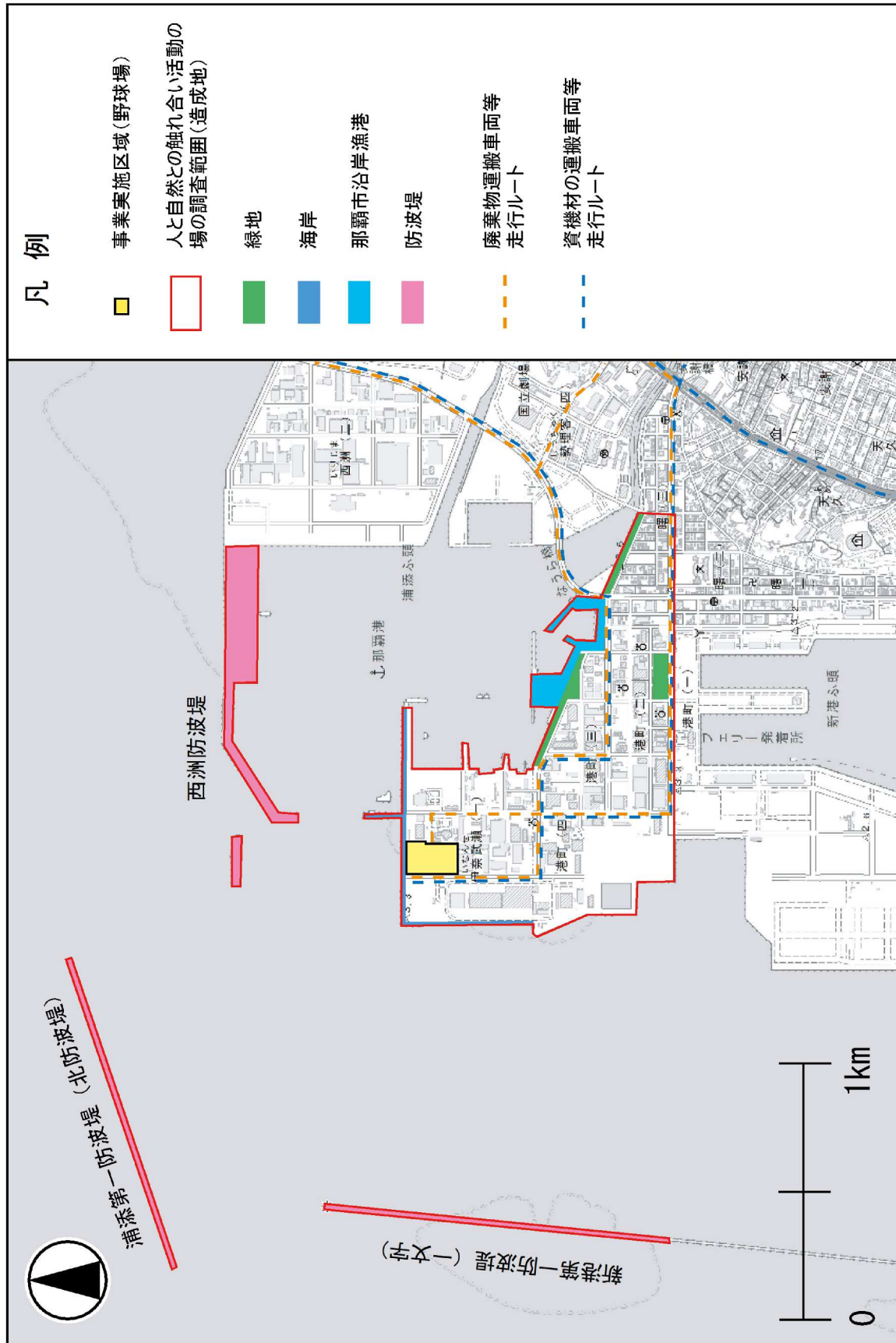


図 7.18.1-2 利用者カウント調査及びエアリング調査の調査位置

(2) 調査結果

1) 人と自然との触れ合い活動の場の状況

① 文献その他の資料調査

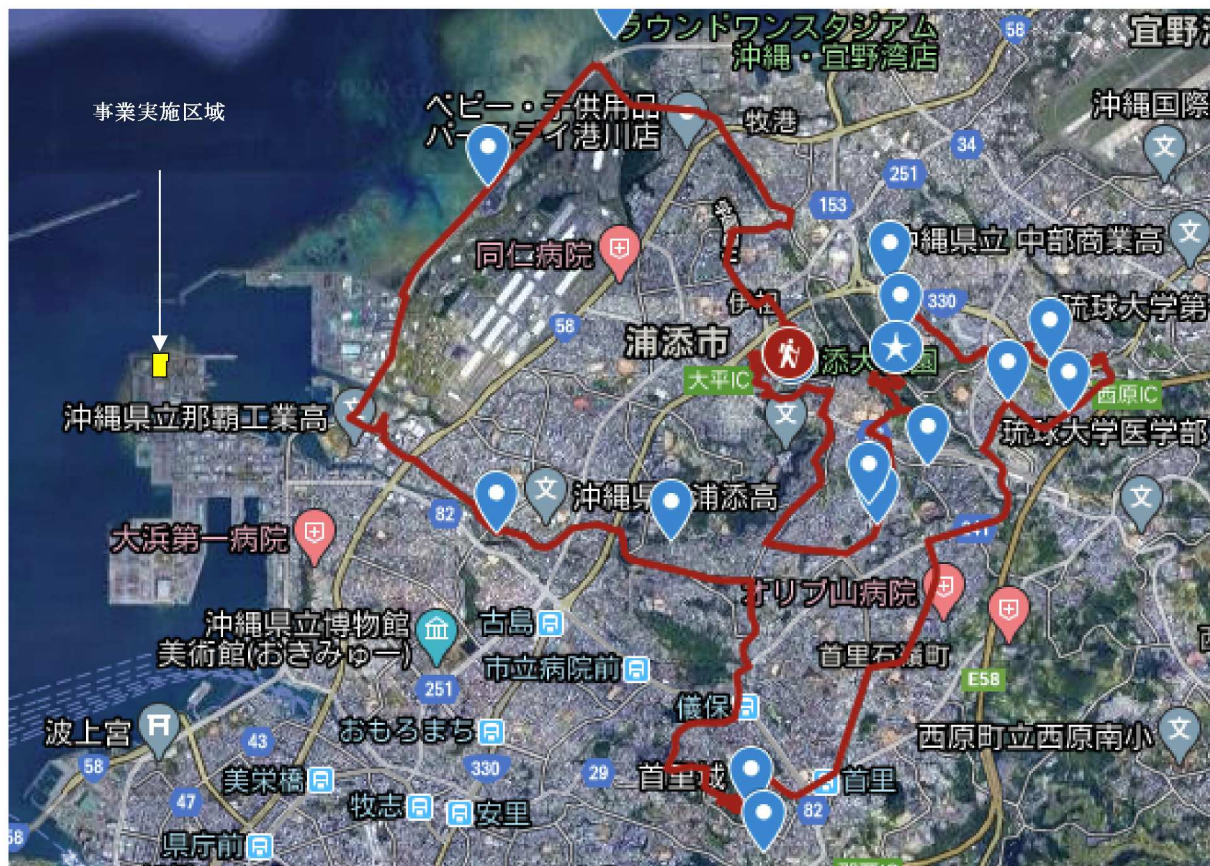
文献その他の資料調査結果を表 7. 18. 1-4 に示す。

これによると、事業実施区域及びその周辺では、浦添市が毎年、浦添市内の魅力的な場所を見て回ることを目的に「てだこウォーク」を開催している。2020年2月に行われた第19回目のイベントでは、8コースが用意され、そのうち、事業実施区域及びその周辺としては、『日本遺産と浦添西海岸を巡るコース』（図 7. 18. 1-3 参照）と『西海岸とキャンプキンザーウォークコース』（図 7. 18. 1-4 参照）の2コースとなっていた。

なお、その他に参考とした文献及び資料等の調査結果を表 7. 18. 1-5 に示す。

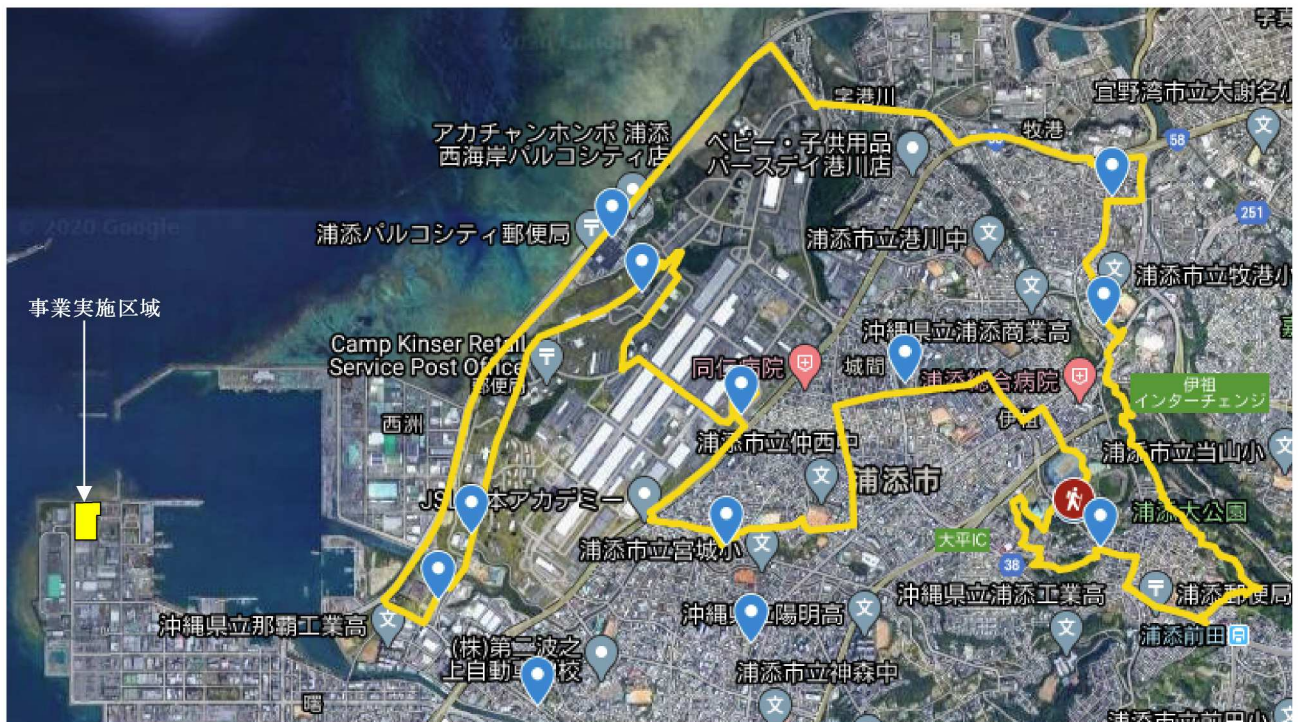
表 7. 18. 1-4 文献その他の資料調査結果

名称	主催	概要
てだこウォーク	浦添市	浦添西海岸道路を組み合わせた新コースや定番の浦添八景コースをはじめとした浦添市と周辺市町村をめぐるコースを見て回る。



出典：「浦添市ホームページ/てだこウォーク/てだこウォーク 2020」（浦添市、令和2年2月13日アクセス、<http://www.city.urasoe.lg.jp/tedakowalk/2020/>）

図 7. 18. 1-3 てだこウォーク『日本遺産と浦添西海岸を巡るコース』



出典：「浦添市ホームページ/てだこウォーク/てだこウォーク 2020」（浦添市、令和2年2月13日アクセス、<http://www.city.urasoe.lg.jp/tedakowalk/2020/>）

図 7.18.1-4 てだこウォーク『西海岸とキャンプキンザーウォークコース』

表 7.18.1-5 その他に参考とした文献その他の資料調査結果

文献名等	概要
沖縄コンベンションセンターホームページ	https://www.oki-conven.jp/
おきなわ物語（沖縄観光情報WEBサイト）ホームページ	https://www.okinawastory.jp/
海の釣り場情報ホームページ	https://tsuriba.info/
ビジネス・モールうらそえ（浦添の地域密着型ポータルサイト）ホームページ	https://yuinomachi.jp/
ダイビングポイントマップー沖縄本島編ー	2002年、沖縄マリン出版

② 現地調査

現地踏査を行う前に、事業実施区域及びその周辺においてイベント等が行われているか確認を行った。ヒアリング結果を表 7.18.1-6 に示す。

表 7.18.1-6 ヒアリングの結果

対象者	ヒアリング結果
那覇市沿岸漁業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施区域周辺においては、人が集まるイベントなどは行われていない。 事業実施区域近傍の護岸では、釣りをしている人はいるが、サーフィンをしている人は見たことがない。 浜下り（ハマウリ）は行われていないが、西洲では行われている。
浦添市役所（各部局）	情報無し

2) 人と自然との触れ合い活動の場の利用状況、利用形態及び利用環境

① 利用者カウント調査

a. 調査範囲内における利用者数

調査範囲内における利用者数を図 7. 18. 1-5 に示す。

利用者の人数は、合計で秋季が 588 人、冬季に 126 人の利用がみられた。また、利用時間帯のピークは、秋季が 14～15 時の 143 人で、冬季が 16 時～17 時の 28 人であった。

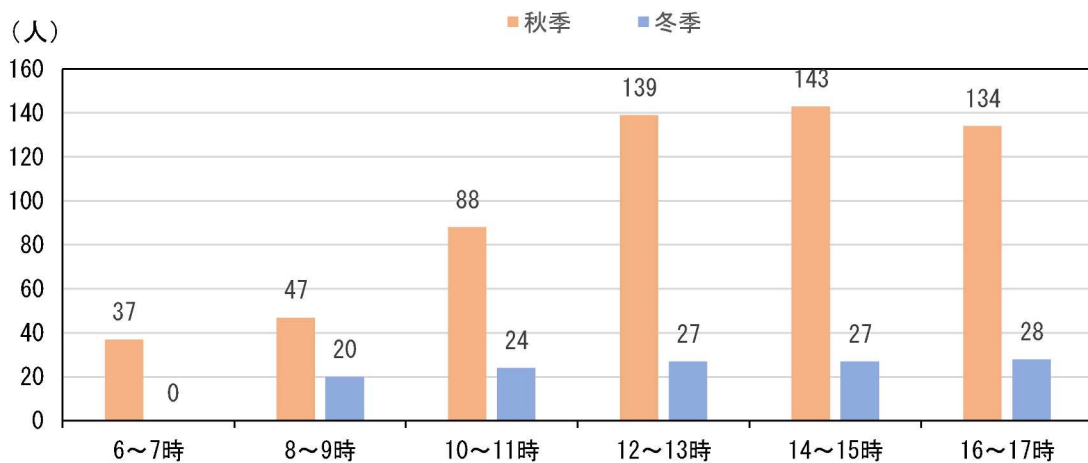


図 7. 18. 1-5 利用者数

目的別利用者数を図 7. 18. 1-6 に示す。

目的別による利用者数は、秋季では釣りが最も多く 445 人、冬季では休憩・散歩が最も多く 71 人であった。

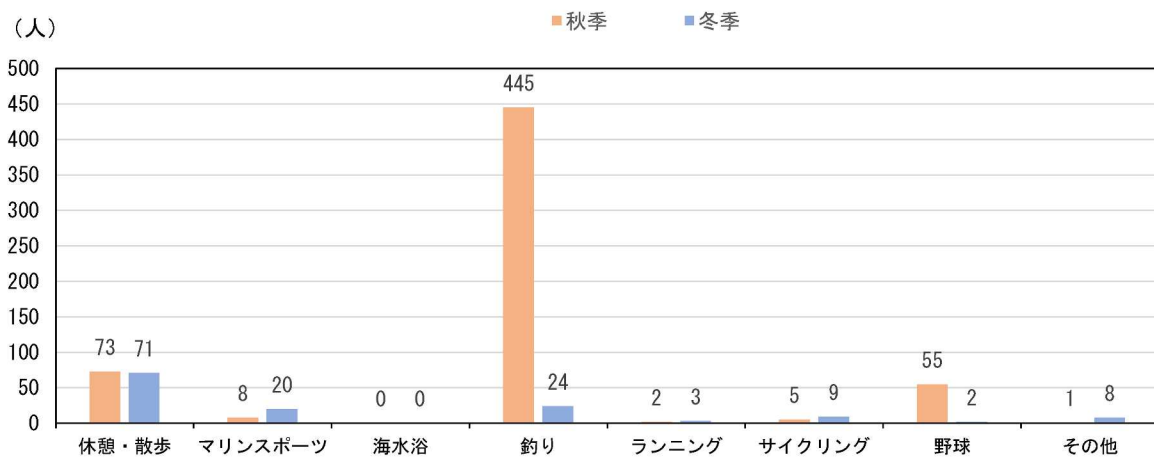


図 7. 18. 1-6 目的別利用者数

b. 調査範囲内における造成地の利用者数

造成地における利用者数を図 7. 18. 1-7 に示す。

造成地では、合計で秋季が 3 人、冬季に 14 人の利用がみられた。また、利用時間帯のピークは、冬季が 8～9 時の 7 人であった。

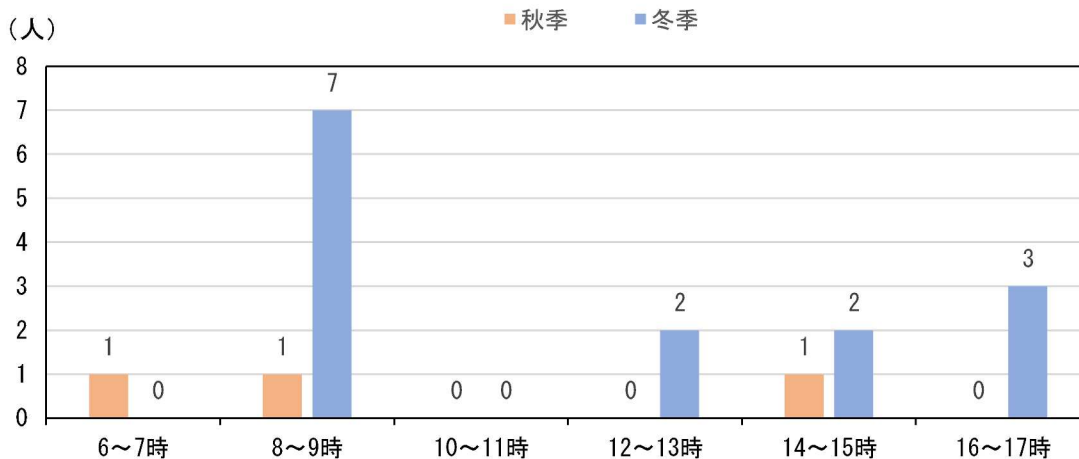


図 7. 18. 1-7 利用者数（造成地）

造成地における目的別利用者数を図 7. 18. 1-8 に示す。

利用目的としては、秋季ではサイクリングが最も多く 2 人、冬季では休憩・散歩が最も多く 10 人であった。

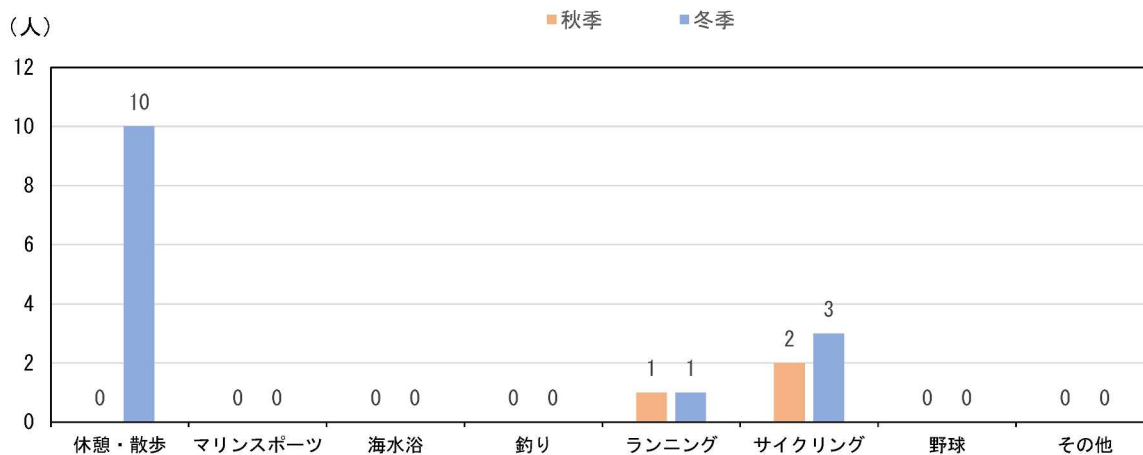


図 7. 18. 1-8 目的別利用者数（造成地）

c. 調査範囲内における緑地の利用者数

緑地における利用者数を図 7. 18. 1-9 に示す。

緑地では、合計で秋季が 65 人、冬季に 74 人の利用がみられた。また、利用時間帯のピークは、秋季が 16～17 時の 32 人で、冬季が 14～15 時の 27 人であった。

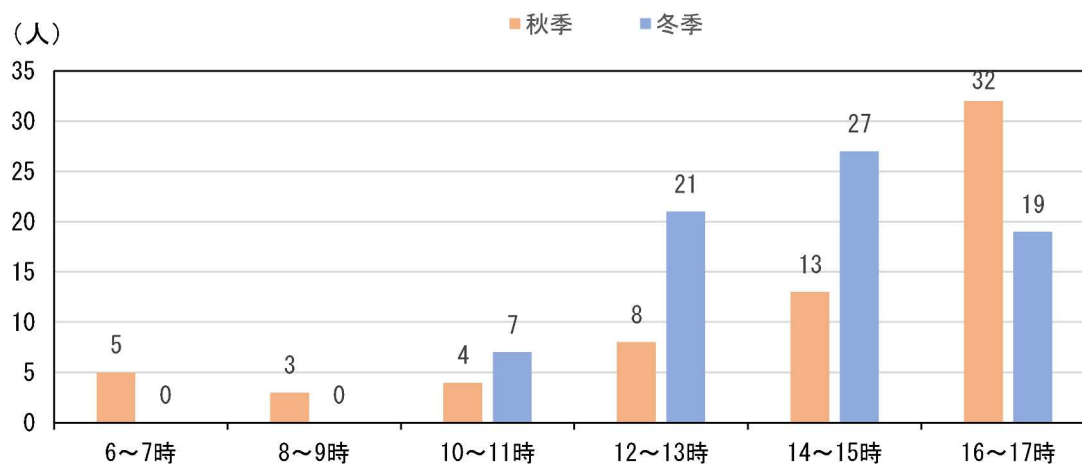


図 7. 18. 1-9 利用者数（緑地）

緑地における目的別利用者数を図 7. 18. 1-10 に示す。

利用目的としては、秋季では休憩・散歩が最も多く 50 人、冬季では休憩・散歩が最も多く 39 人であった。

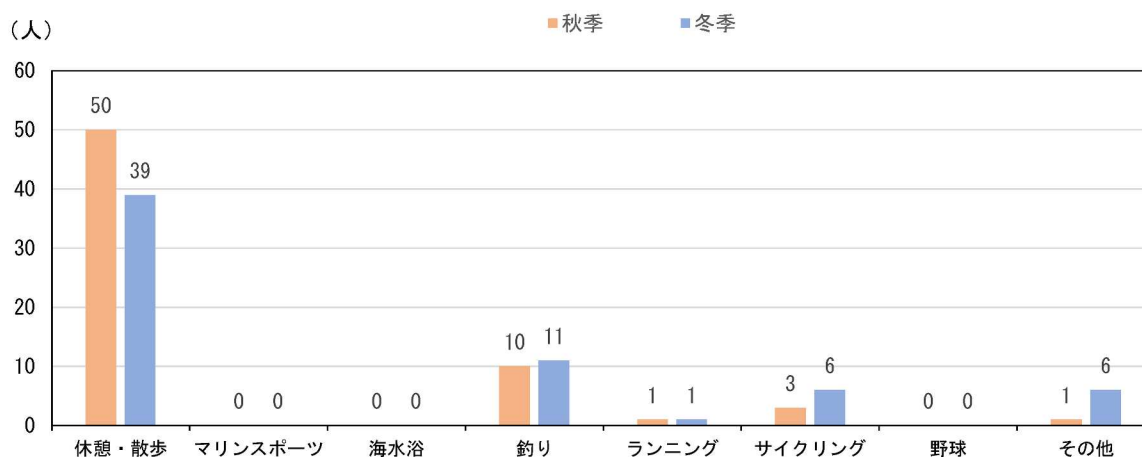


図 7. 18. 1-10 目的別利用者数（緑地）

d. 調査範囲内における海岸の利用者数

海岸における利用者数を図 7. 18. 1-11 に示す。

海岸では、合計で秋季が 84 人、冬季に 30 人の利用がみられた。また、利用時間帯のピークは、秋季が 16～17 時の 23 人で、冬季が 8～9 時の 12 人であった。

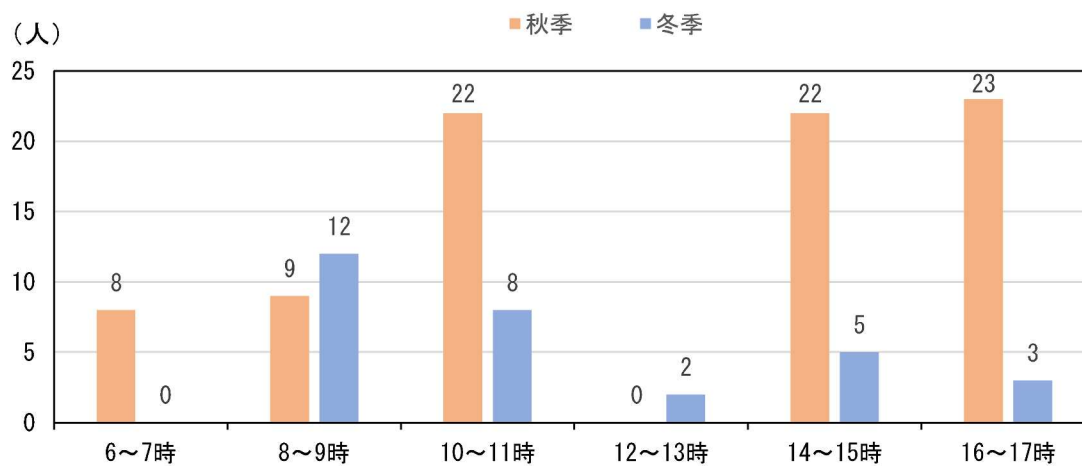


図 7. 18. 1-11 利用者数（海岸）

海岸における目的別利用者数を図 7. 18. 1-12 に示す。

利用目的としては、秋季では釣りが最も多く 58 人、冬季ではマリンスポーツが最も多く 17 人であった。

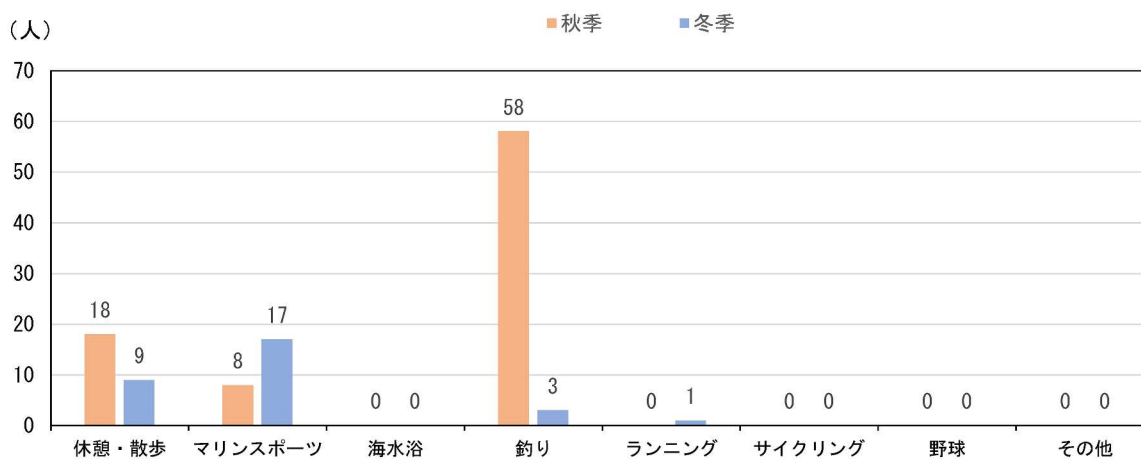


図 7. 18. 1-12 目的別利用者数（海岸）

e. 調査範囲内における那覇市沿岸漁港の利用者数

那覇市沿岸漁港における利用者数を図 7. 18. 1-13 に示す。

那覇市沿岸漁港では、合計で秋季が 15 人、冬季に 15 人の利用がみられた。また、利用時間帯のピークは、秋季が 12～13 時の 7 人で、冬季が 10～11 時の 9 人であった。

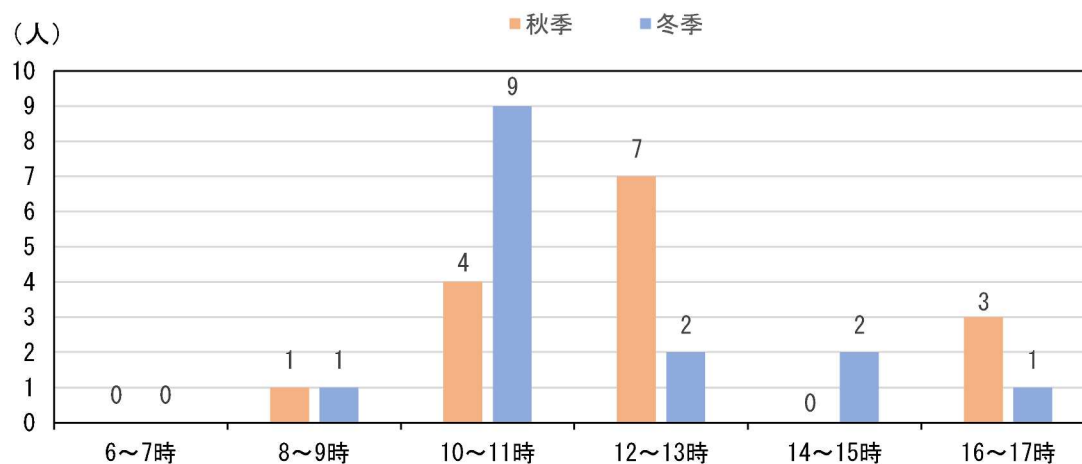


図 7. 18. 1-13 利用者数（那覇市沿岸漁港）

那覇市沿岸漁港における目的別利用者数を図 7. 18. 1-14 に示す。

利用目的としては、秋季では釣りが最も多く 11 人、冬季では休憩・散歩が最も多く 9 人であった。

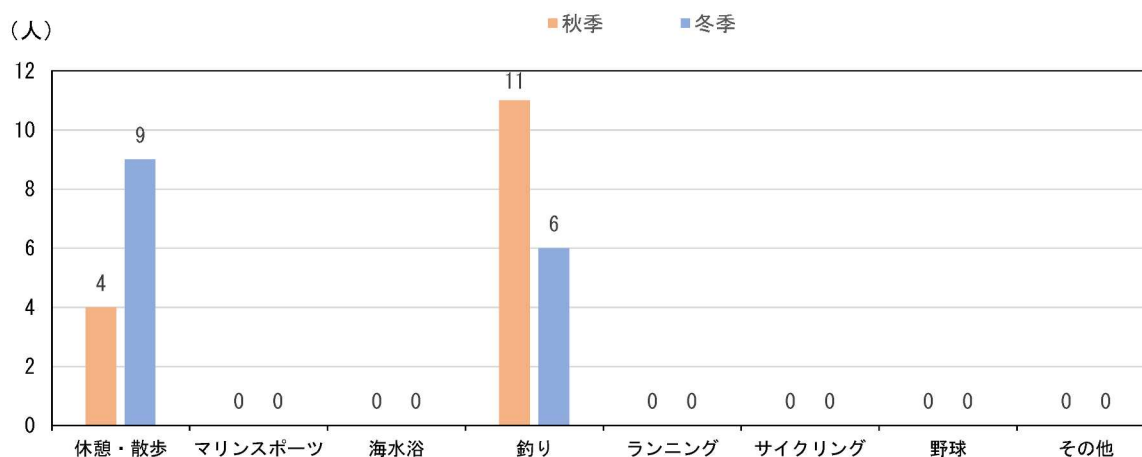


図 7. 18. 1-14 目的別利用者数（那覇市沿岸漁港）

f. 調査範囲内における防波堤の利用者数

防波堤における利用者数を図 7. 18. 1-15 に示す。

防波堤では、合計で秋季が 365 人の利用がみられた。また、利用時間帯のピークは、秋季が 12～13 時の 99 人であった。

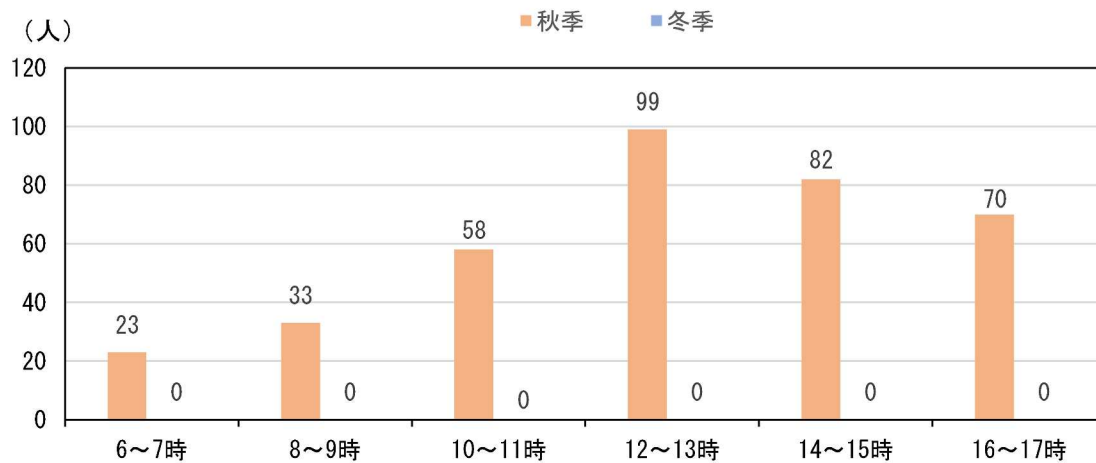


図 7. 18. 1-15 利用者数（防波堤）

防波堤における目的別利用者数を図 7. 18. 1-16 に示す。

利用目的としては、秋季では釣りが最も多く 365 人であった。

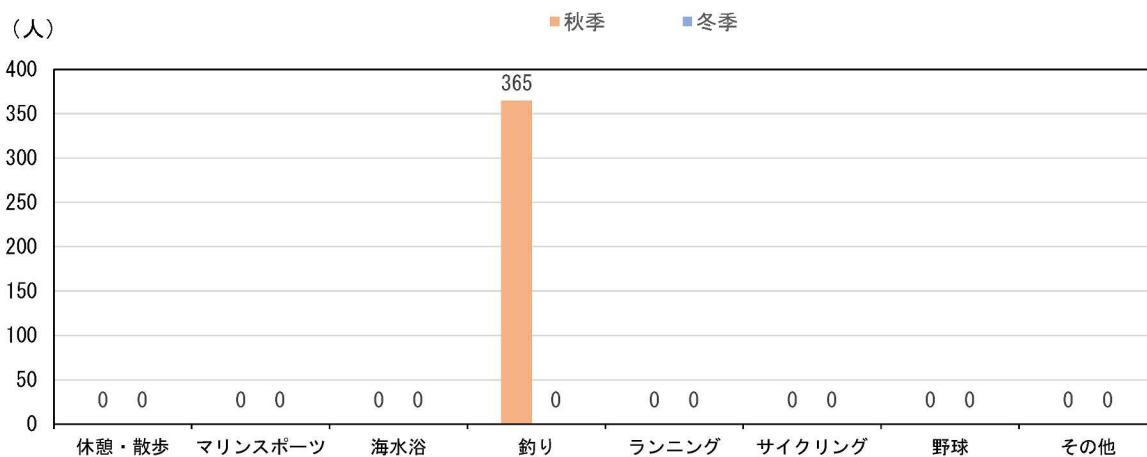


図 7. 18. 1-16 目的別利用者数（防波堤）

g. 調査範囲内における野球場（伊奈武瀬球場）の利用者数

野球場(伊奈武瀬球場)における利用者数を図 7.18.1-17 に示す。

野球場(伊奈武瀬球場)では、合計で秋季が 56 人、冬季に 4 人の利用がみられた。また、利用時間帯のピークは、秋季が 12～13 時、14～15 時の各 25 人で、冬季が 14～15 時、16～17 時の各 2 人であった。

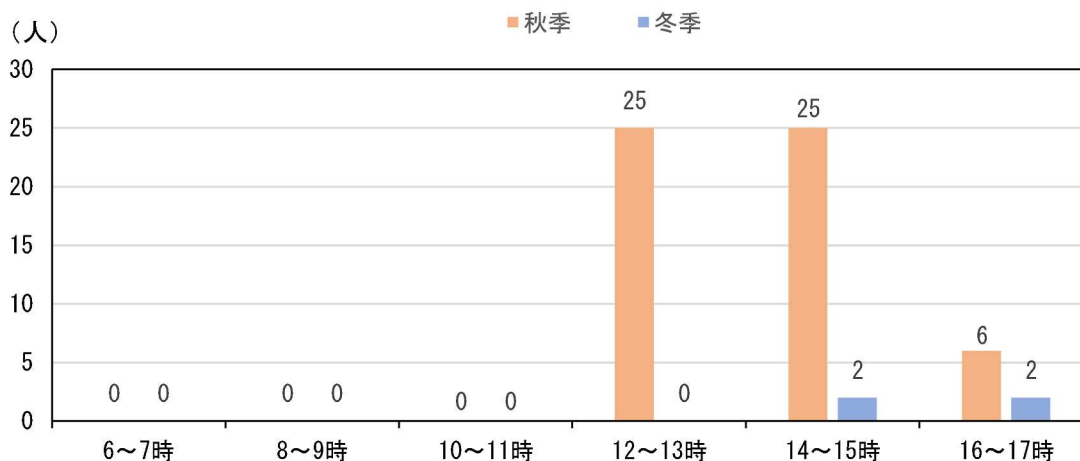


図 7.18.1-17 利用者数（野球場（伊奈武瀬球場））

野球場(伊奈武瀬球場)における目的別利用者数を図 7.18.1-18 に示す。

利用目的としては、秋季では野球が最も多く 55 人、冬季では野球とその他が最も多く 2 人であった。

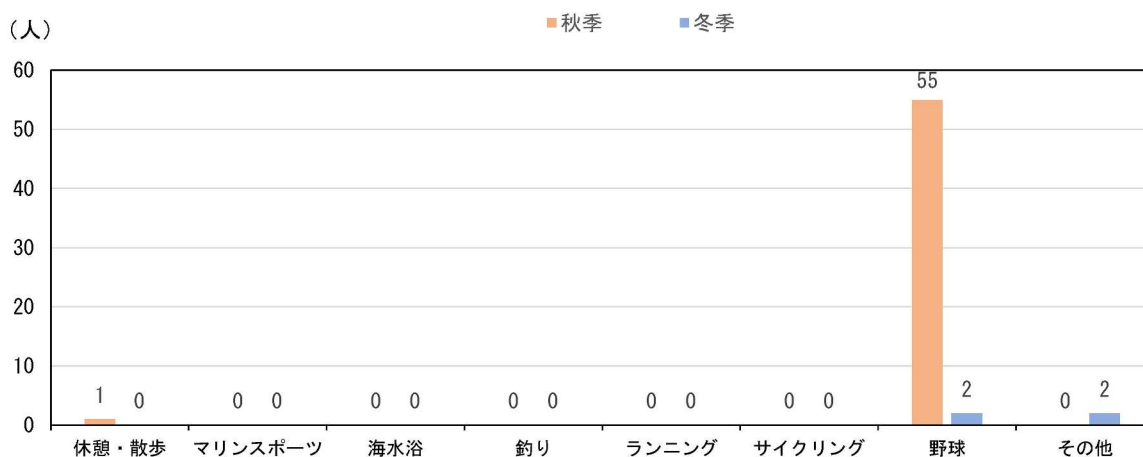


図 7.18.1-18 目的別利用者数（野球場（伊奈武瀬球場））

写真 7. 18. 1-1 (1) 利用の状況

区分	造成地
	
サイクリング	ランニング

写真 7. 18. 1-1 (2) 利用の状況

区分	緑地
	
休憩	ランニング
	
散歩	釣り

写真 7. 18. 1-1 (3) 利用の状況

区分	海岸
	
釣り	休憩
	
散歩	マリンスポーツ

写真 7. 18. 1-1 (4) 利用の状況

区分	那覇市沿岸漁港
	
釣り	釣り

写真 7. 18. 1-1 (5) 利用の状況

区分	防波堤
	
<p>釣り（西洲防波堤）</p>	<p>釣り（新港第一防波堤）</p>

写真 7. 18. 1-1 (6) 利用の状況

区分	野球場（伊奈武瀬球場）
	
<p>野球の練習</p>	<p>トランペットの練習</p>

② アンケート調査

a. 調査範囲内における利用者数

事業実施区域及びその周辺で、利用目的、訪問回数等を直接ヒアリングした結果を表 7.18.1-7～表 7.18.1-8 に示す。

アンケートを実施した場所については、秋季は造成地、緑地、海岸の3箇所で、冬季は緑地、海岸、野球場(伊奈武瀬球場)の3箇所で行った。

表 7.18.1-7 ヒアリング結果（秋季）

ヒアリング項目		ヒアリング結果（人）		
		造成地	緑地	海岸
当該地域に来た理由	①休憩・散歩	0	3	2
	②マリンスポーツ	0	0	1
	③海水浴	0	0	0
	④釣り	0	1	3
	⑤観光	0	0	0
	⑥その他	1	1	0
誰と来たか	①単独	1	3	4
	②家族	0	1	1
	③友人等	0	1	1
	④団体ツアー等	0	0	0
	⑤その他	0	0	0
訪問回数	①初めて	0	1	3
	②過去に訪れたことがある	1	4	3
どこから来たか	①浦添市内	0	1	1
	②那覇市内	1	4	5
	③他市町村	0	0	0
	④県外	0	0	0
当該地域を利用した感想	①満足している	1	2	2
	②まあ満足している	0	1	2
	③どちらとも言えない	0	1	2
	④やや不満である	0	0	0
	⑤不満である	0	1	0
性別	①男性	1	5	6
	②女性	0	0	0
年代	①10代	0	0	0
	②20代	0	0	1
	③30代	0	0	1
	④40代	0	1	3
	⑤50代	1	2	0
	⑥60代	0	2	1
	⑦70代以上	0	0	0

表 7. 18. 1-8 ヒアリング結果（冬季）

ヒアリング項目		ヒアリング結果（人）		
		緑地	海岸	野球場
当該地域に来た理由	①休憩・散歩	3	2	0
	②マリンスポーツ	0	2	0
	③海水浴	0	0	0
	④釣り	1	2	0
	⑤観光	0	0	0
	⑥その他	1	1	2
誰と来たか	①単独	3	4	1
	②家族	1	3	1
	③友人等	1	0	0
	④団体ツアー等	0	0	0
	⑤その他	0	0	0
訪問回数	①初めて	0	0	0
	②過去に訪れたことがある	5	7	2
どこから来たか	①浦添市内	1	2	1
	②那覇市内	3	3	0
	③他市町村	1	2	1
	④県外	0	0	0
当該地域を利用した感想	①満足している	3	2	2
	②まあ満足している	0	2	0
	③どちらとも言えない	2	3	0
	④やや不満である	0	0	0
	⑤不満である	0	0	0
性別	①男性	4	6	2
	②女性	1	1	0
年代	①10代	0	0	0
	②20代	1	0	0
	③30代	1	3	2
	④40代	1	2	0
	⑤50代	0	1	0
	⑥60代	0	1	0
	⑦70代以上	2	0	0

3) 人と自然とのふれあい活動の場のアクセス形態

事業実施区域及びその周辺で、交通手段を利用者へ直接ヒアリングを行った。

ヒアリング結果を表 7. 18. 1-9～表 7. 18. 1-10 に示す。

交通手段は、秋季、冬季ともに自家用車での利用が最も多かった。

表 7. 18. 1-9 交通手段のヒアリング結果（秋季）

ヒアリング項目		ヒアリング結果（人）		
		造成地	緑地	海岸
交通手段	①徒歩	0	2	0
	②自家用車	1	2	5
	③タクシー	0	0	0
	④バイク	0	0	1
	⑤バス	0	0	0
	⑥自転車	0	1	0
	⑦レンタカー	0	0	0
	⑧その他	0	0	0

表 7. 18. 1-10 交通手段のヒアリング結果（冬季）

ヒアリング項目		ヒアリング結果（人）		
		緑地	海岸	野球場
交通手段	①徒歩	1	1	0
	②自家用車	3	6	2
	③タクシー	0	0	0
	④バイク	1	0	0
	⑤バス	0	0	0
	⑥自転車	0	0	0
	⑦レンタカー	0	0	0
	⑧その他	0	0	0

4) 利用の観点から見た人と自然とのふれあい活動の場の価値

利用の観点から見た主要な人と自然との触れ合い活動の場の価値について、表 7. 18. 1-11 に示す。

表 7. 18. 1-11 人と自然との触れ合い活動の場の価値

活動の場	価値軸	認識項目	有する価値
造成地	普遍価値	普及性	△：利用者は多くない。
	固有価値	親近性	△：地域の伝統行事との関わりはない。
緑地	普遍価値	普及性	◎：多くの人を訪れる場所であり、休憩や散策等に利用される等、広く普及している。
	固有価値	親近性	△：地域の伝統行事との関わりはない。
海岸	普遍価値	普及性	◎：多くの人を訪れる場所であり、散策や釣り等に利用される等、広く普及している。
	固有価値	親近性	△：地域の伝統行事との関わりはない。
那覇市沿岸漁港	普遍価値	普及性	△：利用者は多くない。
	固有価値	親近性	△：地域の伝統行事との関わりはない。
防波堤	普遍価値	普及性	◎：多くの釣り人に利用されている。
		傑出性	◎：知名度が高い。
	固有価値	親近性	△：地域の伝統行事との関わりはない。
野球場(伊奈武瀬球場)	普遍価値	普及性	◎：休日には野球の試合や練習などに利用されている。
	固有価値	親近性	◎：多くの人々に利用されている。

注：有する価値について、◎：高い、○：中程度、△：低い